

第2学年 国語科 学習構想案

日 時 令和6年9月17日（火）第5校時

場 所 2年2組教室

指導者 教諭 藤川 亜紀

1 単元構想

単元名		ビーバーのひみつをつたえよう「ビーバーの大工事」 (東京書籍「新しい国語二下」P8～P20)	
単元の目標		(1) 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2) ア (2) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 [思考力・判断力・表現力等] C (1) ウ (3) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 [思考力・判断力・表現力等] C (1) カ (4) 進んで大事な言葉を探しながら読み，国語を大切に，思いや考えを伝え合う ことで言葉がもつ意味やよさに気付こうとする。 「学びに向かう力，人間性」	
単元の評価規準		知識・技能 ①共通，相違，事柄の順序 など情報と情報の関係に ついて理解している。 【(2) ア】	思考・判断・表現 ①「読むこと」において，文章の 中の重要な語や文を考えて選び 出している。 【C (1) ウ】 ②「読むこと」において，文章を 読んで感じたことや分かったこ とを共有している。 【C (1) カ】
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)		単元を通した児童の問い	
知りたいことに関係のある大事な言葉や文に着目しながら本や文章を読む児童		◎どうして「ビーバーの大工事」は「工事」ではなくて「大工事」なのだろう ・3つの大工事のうち，どれが一番大工事だろう ・なぜ大工事をするのだろうか	
単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
ビーバーのひみつ紹介カードをつくって図書室にプレゼントしよう		時間的な順序や事柄の順序に着目して，言葉への自覚を高めること	
指導計画と評価計画 (11時間取扱い 本時9 / 11)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場で「具体的評価規準」
一	2	①題名「ビーバーの大工事」から内容を想像する。 本文を読み，学習計画を立てる。 ※単元の学習課題「『ビーバーのひみつ紹介カード』をつくって図書室にプレゼントしよう」を知る。 ②「大工事」だと思ったことを出し合い，意見交流する。 現段階で，一番だと思う「大工事」を選ぶ。	【態①】 (発言・観察) ○学習の見通しをもって書かれている内容の大体を読んでいる。 ★【思②】 (ノート・発言) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
二	7	③全体を三つのまとまりに分ける。 ④⑤木を切り倒し，川へ運ぶビーバーの行動や体のつくりについて叙述から読み取り，ビーバーのひみつをまとめる。 ⑥⑦ダム作りの順序やダムを作るビーバーの行動を叙述から想像し，ビーバーのひみつをまとめる。 ⑧巣を作るビーバーの行動を叙述から想像し，ビーバーのひみつをまとめる。 ⑨自分が一番だと思う「大工事」をひみつをもとに選び，ビーバーはなぜ「大工事」をするのか考える。 【本時】	【態①】 (ノート・観察) ○進んで大事な言葉を探しながら読もうとしている。 ★【思①】 (ノート・発言) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出して読んでいる。 ★【知①】 (ノート・発言) ○共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ★【思②】 (ノート・発言) ○ビーバーの一番の「大工事」について，見つけたひみつをもとに理由を明らかにして伝えている。

三	2	⑩ビーバーのひみつ紹介カードを書く。 ⑪友達の作った「ビーバーのひみつ紹介カード」を読み合い、交流する。	★【思①】（シート） ○読んで分かったことや考えたことを文章に書いている。 【態①】（シート・発言） ○進んで分かったことなどを伝え合おうとしている。
---	---	--	---

2 単元における系統

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）	
小学校学習指導要領第1学年及び第2学年 〔知識及び技能〕（2）ア 情報と情報との関係 〔思考力、判断力、表現力〕「C 読むこと」（1）ウ 精査・解釈 カ 共有 （2）ア言語活動例	
教材・題材の価値	
「ビーバーの大工事」は、「木を切り倒すビーバー」「ダムを作るビーバー」「巣を作るビーバー」の三つの意味段落で構成された説明文である。児童にとって身近とはいえないビーバーの巣作りの工程が具体的な数値や擬声語・擬態語を用いて詳しく説明されており、児童は興味をもって読み進めることができると考える。そこで、ビーバーの「大工事」について、文章中の大事な言葉や文を探しながら読み進めることで、次単元「本でしらべる」や「どうぶつカードを作ろう」に向け、活用していくことに適した教材である。	
本単元における系統	
1年「いろいろなふね」 説明の文章を読む 2年5月「たんぽぽ」 (説明文) 順序を考えて読む 2年9月「ビーバーの大工事」 大事な言葉を探しながら読む 2年10月「どうぶつカード」 を作ろう（書く） 調べたことをわかりやすく書く 3年「せっちゃんくざいの今と昔」 要約する	

3 指導に当たっての留意点

【児童が問いをもって学ぶための手立て】

○身近な人にビーバーのひみつを伝えるという単元のゴールを基に、児童が目的意識、相手意識をもち、意欲的に取り組めるような言語活動を設定する。

- ・本単元ではゴールの「ビーバーのひみつ紹介カード」作りに関係のある大事な言葉や文に着目しながら、本や文章を読む力を身に付けることを目指して、学習を展開する。さらに本単元で身に付けた力を次単元や他教科の学習、実生活で生かすこともねらいとしている。そこで児童が目的をもって学習を進めるために、本単元では「ビーバーのひみつ紹介カードをつくって図書室にプレゼントしよう」という言語活動を設定する。

○題名に着目する。

- ・本文には、問いの文がないため、筆者はなぜこの題名にしたのか、題名を問いにすることで、筆者の意図に迫る学びができるようにする。

○短い言葉での発問を意識する。

- ・問いを共有しやすいように、発問を短くし、必要な情報が何なのかを確かめながら読み進めていけるようにする。

○授業を焦点化する。

- ・間違い探しや挿絵の並び替えなど、アニメーション活動（学習をゲームのように楽しみながら、読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる）を取り入れ、大事な言葉や叙述を意識して読めるようにする。

○授業を視覚化する。

- ・場面が移り変わる時に、挿絵を提示し、視覚的に捉えることができるようにする。
- ・実物や絵、写真や映像を見せたり、ビーバーが木をかじる音を聞かせたりすることにより、本文の内容をイメージしやすくする。
- ・ダム作りや巣作りの順序を並べ替えたり、選んだりすることで、書かれていることを整理し、写真と文の対応を確認しやすくするために、ロイロノートを活用する。

【お互いの思いや意見を伝え合えるための手立て】

○授業を共有化する。

- ・「友達の考えを聞きたい」「分からないことを聞きたい」などの必要性があるときに対話の時間を確保する。
- ・ペアで交流し、自分と同じ考えまたは異なる考えにふれることで、再度自分の考えを見つめ直し、自信をもって自分の考えを表現できるようにする。
- ・友達の考えを知ること、自分の思考が変化したり、自分の思考に付け加えたりできるように、ロイロノートを意図的に使用する。

4 本時の学習（9時）

（１）目標 ビーバーのひみつをもとに「大工事」である理由を明らかにして伝え合うことができる。

（２）展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	8分	1 前時の学習をふりかえり、課題をつかむ。 (1) 音読をする。(3分間チャレンジ) (2) 前時のふりかえりを紹介し、本時への意欲を高める。 ◇3つの「大工事」の一番を決めるぞ。 (3) 本時のめあてを確認する。 【めあて】ビーバーの一番の「大工事」を選んで伝え合おう。	○音読は自分のペースで3分間読むことを伝える。 ○友達のふりかえりから、本時の活動に取り組む意欲を高める。 ○すごいと思ったところは一番伝えたいところだということを伝える。
展開	25分	【学習課題】自分が一番だと思う「大工事」を選ぼう。 2 ビーバーの一番の「大工事」をひみつをもとに選ぶ。 (1) 自分で考える。(ノート→ロイロ使用) (2) ペアで考えを交流する。 ◇すごいと思うところは同じでも選んだ理由が違うな。 (3) 全体で交流する。(ロイロ使用) ◇私は「木を倒して運ぶビーバーの大工事」です。理由は、太い木をかじって倒すことができる大きな歯がすごいと思ったからです。 ◇敵に襲われないように湖の中に巣を作るのが賢いと思うからです。人間にはできない。 ◇「ダム作りをするビーバー」を選びました。家族総出で仕事をして立派なダムができるのが、協力していいなと思ったからです。 【期待される学びの姿】 自分が「一番だ」と感じたことに関わる大事な言葉や文を文章中から選び、ひみつをもとに理由も伝え合っている。	○ペア交流をすることで、全員が自分の考えを表現できるようにする。 ○友達の選んだ大工事を知ること、理由を聞きたいという意欲を高める。 ＜個に応じた支援＞ ○理由が思いつかない児童の意見を聞き取りながら、ロイロノートでの写真選択を一緒に行い、個別に声をかける。 ○どこからの情報かを明らかにするために、どの段落から見つけたのかも発表させる。(自分の体験と結び付けることも含む) 【到達していない児童への手立て】 ○3つの「大工事」について、これまでの学習の掲示物やノートで振り返り、ひみつに関する言葉があるところに着目させる。
		【まとめ】 私が選んだビーバーの大工事は（ ）です。その理由は（ ）だからです。	
	7分	3 なぜ「大工事」をするのか考える。 (1) 全体で交流する。 ◇「大工事」ができるのはなぜか、今までの学習を思い出してみよう。 ◇きっと敵に襲われないように大工事をしているんだ。 ◇一つの「大工事」じゃなくて、いくつも「大工事」をするのは、敵に襲われないで、安全に家族が生きていくためだと思います。 ◇②に「敵に襲われないように」と書いてあるよ。	○扉の大きな写真と「みずうみのまん中にあるのはなぜでしょう。」という投げかけの掲示や、ビーバーの体の大きさ、切り倒す木やダムの大きさを比べる学習を振り返ることで「工事」に「大」を筆者がつけた意図を感じられるようにする。
終末	5分	4 授業で分かったことをふりかえる。 ◇ビーバーのすごいと思う「大工事」を選ぶことができて、●●さんの考えもいいなと思いました。 ◇ひみつ紹介カードを書くのが楽しみです。	○自分の学びを振り返り、次時から自分が選んだ一番の「大工事」のひみつを「ひみつ紹介カード」に仕上げていくことを確認し、次時への意欲を高めるようにする。

【板書計画】

九月十七日
ビーバーの大工事

めあて
ビーバーの一番の「大工事」をえらんでつたえ合おう

かだい…
自分が一番だと思う「大工事」を選ぼう。

木を切りましたおし川へはこぶ大工じ
木をかじる大きなは↓人間にはできない
およぐときにつかう後ろあし↓水かき
川をおよぐときのかじとり↓お

ダムを作る大工じ
十五分間ももぐる↓人間にはできない
家ぞくそう出できよう力する
ダムが大きい
水のながれにまけないようにする↓かしこい

すを作る大工じ
みずうみのまん中にすを作る
入り口が水の中
外からビーバーが見えない↓くふう
てきにおそわれないようにしている↓かしこい

まとめ
わたしがえらんだビーバーの大工じは（ ）です。
そのりゆうは（ ）だからです。

ふりかえり







【ICT 活用計画】

- 一番の大工事を選び、伝え合う際に、共有化が図れるようにロイロノートにて選んだ大工事の写真を提出させる。発表時に教師が電子黒板に提示する。

ぼくの・わたしの
ビーバーの一番の「大工じ」をえらぼう
☆一つえらんでそれを 送る をおして 提出しよう





